



名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO. 896



超我の奉仕

SERVICE Above Self

<本年度クラブ会長方針>

「チャレンジ」

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 草野 勝彦 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 鬼頭 茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F

2005～2006年度

R.I. 会長

カール・ヴァルヘルム.

ステンハマー

ロータリー財団月間

第1040回例会

於 タイ・バンコク

2005年11月21日(火)

会員 69名

出席計算数69名中69名出席

出席率 100%

前々回出席率 90・77%

ゲスト

AWC アジアの女性と子どもネットワーク
 ワーク 事務局長 山本 博子さん
 元青少年交換学生

ワンリリー ンガンブシンさん
 お母さんのワラポンさんと甥御さん
 住田 マリ子さん 吉田 由美子さん
 藤田 珠代さん

ニコボックス

タイ例会を祝して
 草野 勝彦 鬼頭 茂成 藤田 澈
 堀江 英弥 浅井 隆宣 浅野 彰
 吉田 憲一 吉田 明夫 太田 裕
 田崎 雅三 岡村 隆徳 酒井 修
 桐山 寿浩 前田 隆入 新沼 操

川畑 博敬

タイ・バンコクでの職場例会
 堀田 泰造 高木 政義 横内 恭
 吉田 隆彦 小林 昭吾 近藤聡一郎
 皆様のおかげで無事例会を開催できました。あしがたしげうございました。

柴田 正将

タイ職場例会バート1

ワット・フエイ・サイスクールの図書室落成式

会長挨拶

草野 勝彦

私は名古屋大須ロータリークラブ会長の草野勝彦です。本日は、ワット・フエイ・サイスクールの図書室落成式に、総勢14名でやって参りました。我が大須ロータリークラブは創立二十周年となった2003年には、タイでの多目的教室の建設、又、2004年には、タイのバーンサンタの戸の掘削と、国境を越えて奉仕をして参りました。そして、今年には社会奉仕委員会の近藤委員長の采配で、このワット・フエイ・サイスクールへ国際社会奉仕をさせていただきました。この図書室が、この地域の文化の要として地域住民の皆様の生活に、潤いをもたらされることになれば、我々にとってこんなに嬉しいことでしょうか。又、これが国際ロータリーの今年の目的を叶える活動となることに、我々名古屋大須ロータリークラブは超我の奉仕の喜びを感じています。

最後になりましたが、今回の奉仕活動の橋渡しをしていただきましたAWCの代表 マリ・クリスティーヌ様、事務局長 山本博子様、そして鈴木けい子様には心からの感謝を申し上げます。本日は図書室の落成式におおめどういせうございました。



草野会長挨拶



地元特産「はちみつ」プレゼントの贈呈

地区長挨拶

お集まりの関係者の皆さん、特に大

須ロータリークラブの皆様とコーディネーターの皆様は、遠いところからワット・フエイ・サイスクールの図書室落成式にお越しくださいまして、まことにありがとうございます。現在教育といふものは、教える側が教育を受ける側の立場、すなわち子どもたち

に新しいことを覚えていませるのではなく、子どもたちが自らの学習意欲を高めるような、また子どもたちが進んで知識を得ようとすることができるような教育でなければならぬと思っています。そうするようになって、子どもたちの学習に対する意欲も向上することでしょう。

このたび、大須ロータリークラブの皆様のご協力により、タイバートで約21万バートの寄付をいただき、子どもたちのために図書室を建てることができました。工事は今年（2005年）の9月20日から11月17日を要し、幅メートル、奥行き11メートルの図書室になりました。図書室の中には、教育局などからの援助もございまして、コンピューターを4台備え付けることもできました。このコンピューターを4台備え付けたことにより、子どもたちの学習意欲を高めることが可能となりました。子どもたちには四角い教室の中での学習だけではなく、国境を越えての学習が可能になり、よりいっそう広い知識を得られることと思います。ぜひ活用してほしいと思います。

最後に、ワット・フエイ・サイスクールの皆様、大須ロータリークラブの皆様と、今回のプロジェクトに携わっていただいたコーディネーターの方々、関係者の皆様から感謝いたします。あしがたしげうございました。

タイ職場例会会感懐記

一般広報委員会 高木 政義

タイでの職場例会の様子の一端を報告します。

11月19日(土)・定時に予定のメンバーが集まり、タイ国際航空にて10時30分出発。バンコク国際空港で乗り継ぎ、夜のチェンマイに着きました。入国審査に意外と時間がかかりこれが通常なのかもしれないが私がグループの最後でした。

夕食の時間なのでレストランへ。夜のせいか川辺のながなが霽雨のいい店でした。ジョー・マリ・クリスティーさんと会いましたが、彼女は日程の都合でチェンマイを拜たなければならず、残念ながらゆっくりと話をしながらの夕食を共にすることができませんでした。



マリ・クリスティーさんと一緒に

20日(日)・ワット・フエイ・サーイスクールの図書室落成式に参列すべく、マイワロバス(途中の道路事情のため3台に分乗して出発。学校に近づくにつれ、のどかな風景が続く、気分もやすくなりました。学校では大変な歓迎ぶりです。入り口に生徒が列

に並び、その間を歩く我々を生徒が笑顔で合掌して迎えてくれました。また図書室の隣に設けられた舞台上では生徒による民族舞踊が始まりました。



生徒さんのお出迎え



手先の綺麗な民族舞踊

その後帰るまでに2回、より高学年の生徒による舞踊が披露され、見ていて楽しいものでした。落成式の中でいかにタイらしいと思ったのは、図書室の奥に壁を背にして黄色の衣を着た数人の僧侶が座っていて、我々を前にして経を唱えたことでした。

仏教と生活様式の結びつきの深さを感じました。また我々の手首に白い数本の糸を結んでくれました。良き事があるようにとの、一種のおまじないのようなもので、当地の風習の一つを体験しました。美しい白い壁の図書室はこの学校の教育に有用な施設となるでしょう。



僧侶による糸結びの儀式

時間に追われながら学校を後にして、「あなたの家」の井戸に向かいました。芝が敷き詰められた敷地の隅に櫓がありました。井戸はそこに地下約80メートル掘り下げられており、井戸水は一旦櫓の上の水槽に上げられ、そこから供給されています。寄贈した井戸が施設の重要な一部として役立つという状況を実感しました。

昼食後、亞港への途中、ワット・プラート・ドイ・ステープという山頂の寺に寄りました。仏舎利が納められている仏塔は、まさにキンキラ。興味深かったのは誕生日の曜日(曜)が重なり、仏塔の前の書錢箱も曜日(曜)にあり、自分の生まれた日の曜日の書錢箱に書錢をいれるのです。その他相性などにも使われるとのこと。

チェンマイ発の飛行機が遅れたためバンコクでの夕食に合流する予定の他メンバーが心配でしたが、先着組テーブルにもつ相当アルコールが入っているにぎやかな顔がありました。21日(月)・訪問する日本企業の現

地法人はバンコクから東に車で約1時間程の多くの日系企業が進出している地域にありました。まずデンソータイランドを見学。デンソーグループの会社で自動車部品(スターター、オルタネーターなど)を製造しています。



デンソータイランド工場

工場内は日本の工場と全く同じです。従業員人事関係で徴兵制(ともに僧侶)一度は僧侶になる)に関する制度があるのは、いかにこの国らしいものでした。次に藤田蝶子タイランドを見学。日本で生産される主にネジをタイ国内あるいは近隣諸国へ供給する拠点となっている会社です。若い社員の活躍に感心しました。デンソータイランドでも同じでしたが、女性従業員の採用に熱心で男は力仕事の話はショックでした。それと西社の担当者顔がなぜかタイ人のように見え

てくるのは長期滞在のせいかと気がなりました。昼食後のバンコク市内の王宮見学ではバスを出たときに寄り添う土産売りのオバさんの対応に苦労したメンバーもいました。夕方タイでの例会開催となり、「ニコボックスもかなり

潤ったようです。

22日(火)・ゴルフ場には行かず5人でアユタヤへ遠出しました。アユタヤはバンコクの北に位置します。美しいバーン・パイン離宮を見た後にアユタヤの日本人町の跡を訪ねました。徳川家康の時代に繁栄した山田長政で有名な町です。日本人のエネルギーを感じました。アユタヤは遺跡の町です。赤いレンガの崩れかけた壁や仏塔が昔の王朝を偲ぶものとして印象的です。それにしてもずらりと並んだ石仏の頭部がごっごく無くなっているのは無惨なものでした。

我々が宿泊しているホテルで午後7時から開催されたバンコクスリオンロータリークラブの例会にみなで出席。会の議事進行は我がクラブと似ておりましたが最初に国歌斉唱で、タイの国歌はなんと同ならず次の日本の歌にほつきました。卓話があり華道の先生の話でした。例会後亞港へ。深夜発の飛行機を待ちました。

23日(水)・早朝の中部国際空港に到着。番外編はあったものの全無事帰国できたのは、出発の朝見送りに来られた岡部快園さんからいただいた大須観音のお守りのおかげと感謝しているようにです。

12月8日(木)例会のご案内「ハンドベル」

「フィスタリア」の皆さん 指揮者 吉田 年一先生